

春風秋霜 9月号

令和2年9月1日
島田市教育委員会だより
教育長 濱田和彦

春風をもって人に接し、秋霜をもって自らを慎む 佐藤一斎

1 平和への願い

島二小の学校便りを読むと、7月26日(日)の島田空襲被爆者慰霊のつどいについて書かれていました。昭和20年7月26日に、長崎に落とされた原子爆弾の模擬爆弾が扇町に落とされました。これは、原子爆弾の投下訓練として行われたもので、島田市以外にも日本各地で行われたことが分かっています。

例年、被爆者慰霊のつどいでは島二小の児童代表が平和への願いを読み上げています。島二小の学校便りでは、この空襲や島田市平和都市宣言に触れつつ、日常の平和のありがたさを訴えていました。

自然災害の多発やコロナ禍の新しい生活様式を続ける中、日常の平和のありがたさを実感している人は多いと思います。8月15日(土)に行われた平和祈念式典でも、この宣言は読み上げられています。「何気ない挨拶を交わしあえる喜び、それは平和という宝物」とする島田市平和都市宣言を子供たちと共にかみしめたいものです。

2 熱中症対策について

今年の8月は異常な高温が続きました。県内外の複数の場所で40℃を越す日があり、地球温暖化を実感しました。こんな時に心配されるのが熱中症です。家の中でも熱中症になり救急搬送される方もいたり、新型コロナウイルスで亡くなる方より熱中症で亡くなるの方が多かたりすると聞くと十二分な注意が必要です。

新学期が始まり屋外での活動も行われます。特に心配なのは、コロナ禍の影響によりあまり外出をしないで家の中にいた子供たちです。高温の中での活動に慣れていないため、体温を調整できない場合があるからです。体育大会の練習が始まる学校もあるので、十分な配慮をお願いいたします。

暑い時には、汗をかく経験が大切とも言われます。汗をしっかりとかくことで、汗腺の働きを高め、体温調整に役立つからです。少し涼しくなった夕暮れ時に体を動かし、汗をかく体質作りにも配慮しましょう。

3 GIGAスクールについて

8月7日(金)の島田市の臨時議会において、一人一台端末の予算が承認されました。多くの市では9月議会において議案提出されると聞いているので、現時点での契約成立は端末確保に有利に働くと思われれます。できれば12月に整備が完了することを願っています。

端末の仕様は、バッテリーは12時間対応(5年間の使用を考え)とし、防滴防塵対応、76cmからのコンクリト落下テストクリア、QRコードログイン仕様、バッテリー90分90%充電など、国より高い性能を確保しています。

一人一台端末が整備されれば、授業が大きく変わります。子供の考えの把握が簡単にで

きるし、子供の考えをクラス全員で共有することや、QRコードやネットから様々な資料やデータを得ることも可能になります。

既に多くの学校で様々な実践が行われていますが、効果的な使用についての情報共有が大切だと思います。実践を個人のものにとせず、周囲に発信していただきたいと思います。

4 暑さも見方を変えれば

暑さや長雨の影響で野菜が高いという声をよく聞きます。私の家でもスイカやカボチャはほぼ全滅でした。これから冬野菜の種まきを開始しますが、暑さがいつまで続くか心配されます。

しかし、悪いことがあれば良いこともあります。オクラは豊作でした。また、ブドウもたくさんなりました。売り物になるようになりっぱなものではありませんが、家族で食べるには十分です。

また、今年はハイビスカスやプルメリアはきれいに開花しました。熱帯系の花は暑い中でも元気です。暑くても暑さゆえの発見もあるはずです。暑さを受け入れる心のゆとりが必要だと思います。



プルメリアの花

肘かけ椅子

柳川 真佐明 教育委員

「第44回全国児童・生徒木工工作コンクール」

県内木材業界の後継者で組織する静岡県木材青壮年団体連合会では、例年夏休みの自由課題として、「全国児童・生徒木工工作コンクール」への木工作品の募集をしています。身近な材料である木を使い、建造物をつくったものもあれば、木の形や色などを生かしてつくられたアート作品また、「もし〇〇が木だったら！」というような自由な発想で表現されたものなど、多くの作品が出品されます。

令和2年3月に第44回全国児童木工工作コンクール（令和元年度分）の審査が行われました。島田市の小・中学校からは、48点（県全体で596点）に及ぶ作品を出品頂き、感謝に堪えません。その中で島田市立金谷小学校 6年生児童の作品「ひのきの扇子」がSDGs賞（全国の部）・静岡県知事賞（静岡県の部最優秀作品）に、静岡大学教育学部附属島田中学校 1年生生徒の作品「森の音楽隊」が日本木青連木育推進委員長賞（全国の部）・静岡県教育委員会教育長賞（静岡県の部）に輝きました。コロナ禍で、福島県で6月に予定されていた授賞式が中止になり残念でなりません。

しかしながら自由に動きまわれない今こそ、自分が生まれ育っている環境に目を向けるチャンスと捉えステイホームの時間を生かし、大いなる川と山に恵まれた木都島田市について家族で話し合いながら一緒に木工工作を楽しんでみたらいかがでしょうか。